

		事業所管部局	国土交通省河川局
計画事業名	都市基盤河川改修事業(平瀬川支川)	事業担当局	建設局
事業採択年度	着手年度 H4年度	認可・承認等年度	H4年度
経過年数	10年	該当条項	事業採択後10年間を経過
完了予定年度	H20年度	関連事業名	
事業の目的・概要・課題	<p>事業目的</p> <p>市民を洪水の被害から守る為、都市基盤河川改修事業により、時間雨量50^{mm}相当の降雨に対する治水安全度の確保を計る。</p> <p>併せて、生態系に配慮した多自然型川づくりにより都市環境の向上を図る。</p>	<p>事業採択時の背景及び契機</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成2年に準用河川の指定を受け、平成4年度より用地買収に着手し、平成9年に一級河川の指定を受ける。 本河川沿川は、流域の急激な宅地化に伴う雨水量の増加により、大雨の度に浸水被害を生じているので、環境に配慮した河川改修を進めている。 	
	<p>事業内容</p> <p>全体事業延長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・護岸改修 1,554m <p>残事業延長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・護岸改修延長 1,339m 	<p>事業採択(着工,未着工)から基準年を経過している主な理由</p> <p>中小都市河川改修工事は治水上、ある程度まとまった土地の取得が出来て、工事に着手することが安全であり、またその方が効率的である。用地取得に際し、本河川は住宅地の中を蛇行して流れている為、地権者との補償問題や生活再建等も含め交渉に多大な時間を要した。</p>	
	<p>事業費規模(単位:百万円)</p> <p>(1)事業費 8,022 (うち 国庫補助金 1,872)</p> <p>(2)残事業費 5,580</p>	<p>現状の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体事業費に占める用地費の割合が8割にも及ぶため、今後は工事の進捗に対応出来るような、計画的な用地費の確保が課題である。 ・事業の重要性について理解を求め、今後とも地権者との交渉を進めていくこと。 	

評価の概要	<p>本河川流域は、急激な都市化の進展に伴い、降雨時の雨水量が著しく増加しているため、早期の河川改修により、市民生活の安全確保と快適な都市基盤整備が求められている。また、地元においても住民参加の川づくりにより、まちづくりの活性化を図りたいという意見が多い。</p>
-------	--

再評価への考え方	<p>平成9年に河川法が改正され、「河川環境の整備と保全」が追加された、さらに計画段階に「住民意見の反映」が明確化された。現在、地元との合意を前提とした改修基本計画案の策定に取り組んでいる。</p> <p>また、本河川は区の「パートナーシップ街づくり事業」に位置づけられており、平成11年度には地元住民による平瀬川長沢流域協議会が設立され、川づくりについての住民学習会等が現在までに14回開催されるなど、地元の川づくりに対する関心度が高いため、事業を継続することが必要である。</p>
----------	--

対応方針案	<p>対応方針案</p> <p>継続・中止・休止</p> <p>対応方針案の考え方 今後も住民参加型の川づくりを推進しながら、治水安全度の向上を目指したい。</p>
-------	---